

## (特非) 水辺に遊ぶ会

# 中津干潟が公的保全の枠組みに指定されることを目指すプロジェクト

活動地域  大分県



ミニ写真・映像展を通じた中津干潟PRキャンペーン

### 課題

中津干潟は、公的保全の枠がかけられていない。何らかの公的枠組みの指定を受けるため、生物の基礎調査、勉強会、キャンペーンを通じて、公的枠組みの指定を目指す。

### 目標

中津市民に中津干潟及びそこに暮らす生物群等について多く知ってもらうこと。そのための調査実績の蓄積、行政機関への働きかけなどを実施、公的枠組みへの指定を実現する。



今後の  
展望

調査実績の蓄積を中心に、キャンペーン用の写真映像の記録を行う。公的枠組みについては、OECMが最も有望であることが分かってきたので、他の保全枠組みも学びつつ重点を決めて実施していきたい。

ひろげる助成

1年目

実践

### 活動内容と成果

渡り鳥調査、ベントス調査などでは調査回数が少なかったものの一定の成果を上げることができた。写真・映像展は大型店を会場に、想定より長期間、多くの参加者を得ることができた。会として初めて行った真夏のトンボ観察会には10人の参加があった。事業の合間を見て適宜生物写真の撮影、一部映像撮影も行った。勉強会は、講師選定に苦労したが、結果として一番的確な講師選択ができ、10人の参加があった。キャンペーンとして、市内各団体にアクセスした。予定していた事業に関しては、ほぼ実施することができたものとする。



公的保全の枠組みの蓄積

主要調査の回数 **10回**

大型店における  
ミニ写真映像展 **25日**

今年度計画の達成度 **90%**

目標達成度 **40%**

### 苦労した点と工夫した点

#### ■ 苦労した点

調査者の一人が新型コロナウイルスに感染し、予定の調査回数を行うことができなかった。ドローンがプログラム飛行できなかった。

#### ■ 工夫した点

ドローン活用は、可能な限り飛行回数を増やし、プレ調査を行った。結果、これまで難しかった産卵調査が容易になった。

〒871-0024  
大分県中津市中央町  
2丁目8番35号  
電話：0979-77-4396

E-mail：info@mizubenasobukai.org  
HP：http://mizubenasobukai.org

